

大町市議会議員定数等検討委員会（第13回）会議概要

- 1 開催日時 平成25年10月3日（木）午前10時00分から午前11時03分
- 2 開催場所 市議会第3委員会室
- 3 出席委員 八木 聡（委員長） 眞嶋 強志（副委員長）
松島 吉子 太田 昭司
高橋 正 荒澤 靖
中牧 盛登 一本木基善（公募委員）
大日方三郎（公募委員）
- 4 会議事項
 - (1) 前回の会議概要確認
 - (2) 講演会について
 - (3) 議員活動実態調査集計結果について
 - (4) 検討内容・答申案のまとめについて
- 5 会議内容（決定事項等）
 - (1) 前回の会議概要の確認
 - ・前回の会議概要について確認した。
 - (2) 講演会について
 - ・講演会について、11月16日（土）午後1時30分から市役所東大会議室で開催することとした。講師は、前回に引き続き、山梨学院大学の江藤俊昭教授にお願いする。委員長報告として答申案や活動調査結果について報告を行い、江藤先生の講演をいただき、来場者との意見交換会を実施する。
 - ・パブリックコメント募集について、11月1日（金）～16日（土）までとして、講演会を聞いた人も意見を提出できるようにした。
 - ・当日の役割等については、次回委員会で決定することとした。
 - (3) 議員活動実態調査集計結果について
 - ・集計結果7・8月分と年間集計を配布した。
 - (4) 検討内容・答申案のまとめについて
 - ・各会派等から回答の内容について、補足説明する。
(政友クラブ)
 - ・前回の回答時には意見がまとまらなかったが、今回は16人で一本化できた。理由等については、記載のとおりである。

(民声クラブ)

- ・資料記載のとおりであるが、議員定数が減ることにより誰でもが出馬できなくなる状況が生まれるのではないかと心配する意見があった。

(市民クラブ)

- ・前回の回答から変わっていない。議員定数は16人、常任委員会数は2とする。

(虹と緑の会)

- ・会派の中で何回も話し合いを行った。現在の歳費では若い人が挑戦できないのではないかということから、定数を削減する代わりに歳費を上げる必要がある。定数は思い切って3減とした。

(日本共産党)

- ・現状維持すべき。理由等は記載のとおりである。

(無会派)

- ・前回の回答時は18人だったが、16人と考え方が変わった。多くの市民から議員数が多いのではないかという声を聞いた。県内の状況や視察を通じて検討した結果である。

(一本木公募委員)

- ・会社人として、売り上げと経費の関係という観点から考えた。議員の数を減らせと言う人がいるが、なぜ減らすのか理由を聞いても、ほとんどは明快な答えがない。議員定数を減らしても、政務活動費は増やしてもよいのではないか。

(大日方公募委員)

- ・1年以上委員として委員会に出席しているが、議員の仕事内容を十分把握できていない中で16人とした。視察した議会は、いずれも定数を削減したことにより苦しんでいる印象を受けた。
- ・労務時間から判断した結果、16人で2常任委員会でもほとんど変わらない。→パワーポイントにより補足説明（市議定数検討についての考察）

- ・会派等からの回答も出揃い、委員会としての意見集約を行った。
→委員会としては、議員定数を16人、常任委員会数を2つで単独所属とすることで委員の合意を得た。
- ・次回委員会までに答申案を作成することとした。作成にあたり、委員に意見を求めた
→（委員からの意見）
 - ・少数意見として、議員定数を削減する代わりに報酬を上げるということに付すことには反対である。
 - ・議員定数と報酬は切り離して考えるべきである。
 - ・会派からの回答内容を政治的に利用にしないようにしてもらいたい。
 - ・議員活動は大変であり、一生懸命やっていることを市民に理解してもら

う必要がある。(公募委員)

- ・ 答申の中に、公募委員の意見・感じたことを記載すべきである。
- ・ 少数意見とその理由も答申案に盛り込んでいただきたい。
- ・ 実態調査結果について、記載内容をよく検討していただきたい。

(5) その他

次回の委員会は、10月21日(月)午前10時からの開催予定とする。